

## 建設経済常任委員会会議録

- 1 日 時 令和元年12月12日(木)  
午後0時56分～午後1時50分
- 2 場 所 議員協議会室
- 3 出席委員 委員長 佐々木哲男 副委員長 大泉 徳子  
委員 齋 浩美 委員 佐藤 正博  
委員 長南 良彦 委員 山田龍太郎
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため出席をした者の職氏名 震災復興部長 三浦 仁  
震災復興部次長兼復興調整課長 小畑 和弥  
復興調整課長 浅見 智彦  
復興調整課長 菱沼 弘一  
復興調整課長 企画班
- 6 事務局職員 事務局 長 相澤 幸也  
主幹兼議事調査係長 川上 真理子  
主 査 丹野 宏俊
- 7 付議事件  
(1) 議案第116号 指定管理者の指定について  
(2) 請願第1号 政府及び国会に対し「ライドシェア」に関する意見書の提出を求める請願  
(3) 陳情第5号 本郷地区内の道路整備等に関する陳情

- (4) 陳情第6号 山神線及び成田線の道路拡幅に関する陳情
- (5) 陳情第7号 飯塚成田線の着工・完成に関する陳情
- (6) 陳情第8号 鹿島草倉田線の着工・完成に関する陳情

午後0時56分 開会

○委員長（佐々木哲男） 出席委員は定足数に達しておりますので、委員会条例第14条の規定により委員会は成立いたしました。

ただいまから建設経済常任委員会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議は、お手元に配付の委員会次第書のとおりであります。

この際、諸般の報告をいたします。

委員会条例第19条の規定により、震災復興部長等の出席を求めていますので、報告いたします。

次に、本日の会議に係る一切の資料をお手元に配付しておきましたので、御了承願います。

これをもって諸般の報告を終わります。

それでは、付託議案の審査に入ります。

議案第116号 指定管理者の指定についてを議題といたします。

これより質疑を行います。質疑はありますか。大泉徳子委員。

○委員（大泉徳子） 今回、名取市震災復興伝承館の指定管理者に一般社団法人名取市観光物産協会が決定したということですが、ほかにどれくらいの団体が申請を行ったのかお尋ねします。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、復興調整課長。

○復興調整課長（小畑和弥） 今回の指定管理については、非公募により一般社団法人名取市観光物産協会を選定したところです。

○委員長（佐々木哲男） 大泉徳子委員。

○委員（大泉徳子） 名取市震災復興伝承館には新しく職員を配置することになるという説明がありましたが、性質上施設を管理するというよりは、それをどう生かしていくかということが重要になってくると思います。市として新しい雇用に対し、何か条件や要望などは出していたのか伺います。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、復興調整課長。

○復興調整課長（小畑和弥） 雇用に関しましては、特に市から要望等はありません。

○委員長（佐々木哲男） ほかにありませんか。齋 浩美委員。

○委員（齋 浩美） 資料を見ると、一般社団法人名取市観光物産協会の目的として観光物産事業の振興とありまして、指定管理者として施設の管理を行うということで引っかかっている点の一つあります。一般質問でも質問した内容になるのですが、こういった施設には障がい者など介護や手助けが必要な方が数多く来館すると思うのですが、一般社団法人名取市観光物産協会が管理するに当たって、そうした研修等はどのように考えているのか伺います。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、復興調整課長。

○復興調整課長（小畑和弥） 施設としては、障がい者の方に優しいまちづくりのための基準に照らしたものとなっておりますが、そういった方が来館した際の対応については、今後一般社団法人名取市観光物産協会と相談していきたいと考えています。

○委員長（佐々木哲男） ほかにありませんか。長南良彦委員。

○委員（長南良彦） 今回、指定管理の主な業務は、施設の維持管理と来館者等への対応という説明がありました。先日現地視察を行った際には、そうした業務を行うに当たって、3人程度の職員を配置することを考えているという説明がありましたが、かかる経費としては、人件費のほかもろもろを含めて、年間どの程度を見込んでいるのか伺います。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、復興調整課長。

○復興調整課長（小畑和弥） 現地視察の際には、この施設を運営するには3人程度いればいいのではないかとということで説明いたしました。今回の指定管理に当たっては、1.3人分の人件費を見込んでいるところです。

○委員長（佐々木哲男） 長南良彦委員。

○委員（長南良彦） 1.3人分の人件費ということですが、実際の金額の面で、具体的にどのくらいか試算されていると思うのですが、人件費のほか、施設の維持管理の面ではどのように考えているのか伺います。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、復興調整課長。

○復興調整課長（小畑和弥） 今回、債務負担行為の補正予算を計上してはいますが、人件費、事業費、事務費、施設の電気代や水道代、通信費、軽微な修繕費などを見込んで、年間850万円と算定しています。

○委員長（佐々木哲男） ほかにありませんか。佐藤正博委員。

○委員（佐藤正博） 今回、一般社団法人名取市観光物産協会の事務所機能をこの名取市震災復興伝承館に移転するという説明がありました。それで気になるのが、位置としては閑上なので、市内の中心地というか、増田地区に事務所を置いたほうが良いと考えなかったのでしょうか。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、復興調整課長。

○復興調整課長（小畑和弥） 主たる事務所をどこに置くかということは、一般社団法人名取市観光物産協会が判断することになりますが、平成26年以来、震災伝承の語り部の皆さんとの連携や、震災・防災教育旅行の誘致などの事業に取り組んできた実績があり、ノウハウをもった職員がいるので、施設運営がある程度軌道に乗るまで、そうした職員を重点的に配置するよう、事務局体制を配分していただければありがたいという意味で、機能を移転すると説明したものです。実際に事務所をどこに置くかは、別途相談していきたいと考えています。

○委員長（佐々木哲男） 佐藤正博委員。

○委員（佐藤正博） 今の答弁の中で、語り部という話がありました。実際に閑上で活動している語り部の団体が2つあります。閑上はそれほど大きなまちではないので、一つにまとめて運営してはどうかという話題があり、私もそのほうが良いのではないかと考えているのですが、両方とも独立して今も語り部を中心に活動しています。その中で、2つの団体のバランスをどのようにとるのか心配しているのですが、これは指定管理者に任せて市としては口出しをしないようにするのか、それとも何か考えがあるのか、お伺いしたいと思います。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、復興調整課長。

○復興調整課長（小畑和弥） 閑上の語り部団体に関しては、お話のありました2団体と、防災教育を主として行っている団体が1つあります。それから、正式に団体として立ち上げてはいないと思いますが、閑上地区以外でも震災伝承をしている方がいます。今回の施設整備に当たりましては、そういった団体の皆さんの御意見を聞きながら進めてきました。これまで一般社団法人名取市観光物産協会は、語り部の方を紹介してほしいという問い合わせが入ったときに、窓口になって各団体と調整をしてきた、あるいは連携して事業に取り組ん

できたという経過があり、どの団体とも連携を図ることができます。このことから、各団体の皆さんには名取市震災復興伝承館を起点にいろいろと活動していただけるのではないかと勘案しまして、指定管理者として望ましいと判断したところです。

○委員長（佐々木哲男） ほかにありませんか。齋 浩美委員。

○委員（齋 浩美） これまでの質疑で教育旅行といった話があり、事業実績にも誘致に取り組んでいると書かれています。いわゆるダークツーリズムの誘致を進める中で、一般社団法人観光物産協会を指定管理者として選定したと思うのですが、指定管理をすることで、こうしたインバウンド対策として、教育旅行やダークツーリズムの誘客をふやすといった具体的な取り組みは明確に出ているのでしょうか。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、復興調整課長。

○復興調整課長（小畑和弥） 今回の指定管理者は、例えば高校の写真部のツアーなど、既に震災教育旅行の受け入れの実績があります。一般社団法人名取市観光物産協会からは、こうした教育旅行の受け入れの拡充といった話は受けておりますし、各語り部団体と連携したツアーや、震災伝承の人材育成を含めて取り組んでいくという提案がありますので、そうした自主事業の拡大を期待しているところです。

○委員長（佐々木哲男） 齋 浩美委員。

○委員（齋 浩美） 細かくて申しわけないのですが、現状より具体的にどのくらいふやすかといった数値の目標は出ているのでしょうか。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、復興調整課長。

○復興調整課長（小畑和弥） 実績の報告はいただいておりますが、どこまで伸ばすかといった目標値の設定は受けていません。

○委員長（佐々木哲男） ほかにありませんか。長南良彦委員。

○委員（長南良彦） 議案第116号の資料の事業実績を見ると、これまで非常に手広く事業を展開してきた状況にあるわけですけれども、その中で、今回この名取市震災復興伝承館の指定管理を行っていくとなると、先ほど答弁にもありましたが、運営を軌道に乗せていくまでは相当の協力や連携が必要になってくると思います。そこで、一般社団法人名取市観光物産協会がこれまで実施し

ているさまざまな事業と、施設の指定管理を行う中で取り組む事業をどのようにすみ分けをするのか、そういった規定のようなものは話し合っているのでしょうか。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、復興調整課長。

○復興調整課長（小畑和弥） あくまで名取市震災復興伝承館の管理業務が絶対的に優先ではありますが、震災復興という位置づけではあるものの、それ以外に施設内には市の情報発信コーナーや観光情報発信コーナーも設けますので、こうした内容については指定管理者がこれまで行ってきた業務と相入れないわけではありません。ですので、具体的にこれはだめですというような話をした経過はありません。

○委員長（佐々木哲男） 長南良彦委員。

○委員（長南良彦） 施設が完成すれば、当然名取市震災復興伝承館という看板がどこかにでき上がるのだらうと思います。そして、実際に施設の維持管理をするのは一般社団法人名取市観光物産協会です。本会議でも質疑がありましたが、このことをどのように考えているのでしょうか。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、復興調整課長。

○復興調整課長（小畑和弥） あくまでも施設としましては、名取市震災復興伝承館と、それから水防センターという2つの機能を有していますので、対外的なサインと言いますか、施設の表記としましては、ただいま申し上げたような看板を設置するということです。

○委員長（佐々木哲男） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木哲男） ほかになしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木哲男） 討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより議案第116号 指定管理者の指定についてを採択いたします。

本案を原案のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（佐々木哲男） 起立全員であります。よって、議案第116号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

この際、お諮りいたします。議案第116号に対する委員会審査報告書の作成につきましては、委員長に御一任願いたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木哲男） 御異議なしと認めます。よって、委員会審査報告書の作成については、委員長に一任することに決しました。

以上で付託議案の審査を終了いたします。

暫時休憩いたします。

午後1時13分 休憩

---

午後1時14分 再開

○委員長（佐々木哲男） 再開いたします。

次に、付議事件の（2）請願第1号 政府及び国会に対し「ライドシェア」に関する意見書の提出を求める請願を議題といたします。

請願第1号に係る請願審査報告の取りまとめにつきましては、本日の委員会で委員長案をお示しすることとしておりました。

初めに、請願審査報告書案、及び委員長報告口述案について、書記をして説明をいたさせます。

その後、委員各位より御意見を伺いたいと思います。

○書記（丹野宏俊） 〔資料1により説明をなした〕

○委員長（佐々木哲男） ただいま、書記より説明をいたさせましたが、委員各位より御意見を伺いたいと思います。

休憩して進めてまいります。暫時休憩いたします。

午後1時24分 休憩

---

\*休憩中の要旨

- ・委員長報告口述案について、文言の整理を行った。



---

午後1時26分 再開

○委員長（佐々木哲男） 再開いたします。

お諮りいたします。請願第1号に係る請願審査報告については、休憩中の協議のとおりとしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木哲男） 御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

なお、請願審査報告について、簡易な語句、数字、その他整理を要する事項については、委員長に御一任願いたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木哲男） 御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

次に、付議事件の（3）陳情第5号 本郷地区内の道路整備等に関する陳情から（6）陳情第8号 鹿島草倉田線の着工・完成に関する陳情までを一括議題といたします。

陳情4カ件に係る委員会調査報告の取りまとめにつきましては、本日の委員会で委員長案をお示しすることとしておりました。

初めに、報告書案4カ件について、書記をして説明いたさせます。

その後、委員各位より御意見を伺いたいと思えます。

○書記（丹野宏俊） 〔資料2により説明をなした〕

○委員長（佐々木哲男） ただいま、書記より説明をいたさせましたが、委員各位より御意見を伺いたいと思えます。

休憩して進めてまいります。暫時休憩いたします。

午後1時42分 休憩

---

\*休憩中の要旨

- ・委員会調査報告について、文言の整理を行った。
-

午後1時49分 再開

○委員長（佐々木哲男） 再開いたします。

お諮りいたします。委員会調査報告については、休憩中の協議のとおりといたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木哲男） 御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

なお、委員会調査報告について、簡易な語句、数字、その他整理を要する事項については、委員長に御一任願いたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木哲男） 御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

以上で、本日の付議事件は全て終了いたしました。

本日の委員会はこれにて散会いたします。

大変御苦労さまでした。

午後1時50分 散会

令和元年12月12日

建設経済常任委員会

委員長 佐々木 哲 男